

# 宮の森



発行元・白鳥神社総代会

## 曼荼羅図



曼荼羅図とは、神仏の信仰の世界を絵に描いたもの。

宗教の本質を図示、図解したもの。仏さまの集合体、悟りの境地、教えを図示したもの。等々と定義されていますが、様々な形のものがあり、一口には言い表せないものです。今回、原酒造の原さんが珍しい発見がありましたと資料を届けてくれました。

それは、平成31年4月、富山県南砺市上梨の白山宮で白山曼荼羅が発見されたと言ったものです。

縦139cm、横47cmの和紙に多彩な絵の具で描かれている。描かれた年代は室町時代後期、16世紀中頃と推定されている。この軸の裏に、この巻物は美濃長滝寺の真如坊良賢が所持し、元和7年（1621）に、これを修理したと書かれている。それが、何故、南砺市上梨の白山宮に收藏されていたのか、ミステリーです。

この曼荼羅の絵解きが成されておりあります。この中に、白鳥神社が描かれており、これは知っていただいたいと思ひ簡略にまとめてみました。

この絵は、山の麓から白山山頂までの道のりに神仏や伝承が描かれており「参拝曼荼羅」と呼ばれます。

最上部に白山の神仏が描かれ、中央から下部は美濃禪定道の寺社や本地仏が描かれており、参拝曼荼羅の要素を含

む垂迹曼荼羅図と言ったことです。（垂迹曼荼羅とは、日本の神々は仏教の諸仏が、仮に姿を変えたもの、神の本体を本地仏と言ひ、仮の姿を垂迹神と言ひ。これを描いた物を垂迹曼荼羅と言ひ）

絵図の下部から概略説明すると、

- ・白山参拝の出発点である橋は現・立花白山神社。
  - ・それから上に『須原』は現・洲原神社。
  - ・美並町の現・梅原白山神社、苅安白山神社。
  - ・八幡町、現・勝更白山神社、大和町、現・金剣神社。
  - ・そして白鳥神社、長滝白山神社・長龍寺。
  - ・石徹白・白山中居神社、石徹白大杉。
  - ・別山く別山神、大汝神、
  - ・大御前く白山姫神、阿弥陀如来、十二面観音
- これだけが描かれている。

白鳥では、三体の神仏が描かれている。

向かって右側に錫杖を持った地藏尊、中央に錫杖を持った菩薩（十一面観音か？）、左側には菩薩（聖観音か？）が描かれている。白鳥神社の本地仏ではないかと思われま

す。長龍寺の古文書には白鳥の本地仏は、十一面観音、毘沙門、地藏尊、とある。

この参拝曼荼羅の特徴は、  
・地藏菩薩立像と毘沙門天の旅姿が描かれている。  
とすると、白鳥の三体仏（十一面観音、毘沙門、地藏尊）も旅をしている姿なのだろうか？

現代風に考えれば、白山登山の道路地図だろう。その沿線の代表的な神社を記したパンフレットだ。参拝曼荼羅としては日本最古のもので、貴重だと言われる。そこに、我が白鳥神社が描かれている。

当社も白山信仰に縁深く、誇らしくも感じられます。



## コロナ禍での初宮参り

四月度の初宮詣で神事を行いました。今回は6人の赤ちゃんが参拝された。コロナ禍をものともせずお出でいただいた。その勇氣に感服！

人の一生の内には、様々な儀式がある。753、入学、卒業、成人、入社、結婚、銀婚、金婚、還暦、古希、傘寿、卒寿、百寿。そして最後は葬儀式で仕上げとなる。その人生最初の儀式が初宮参りである。

無事の誕生を神に報告する。そして、その先の健やかな成長を神に祈る。この一番目の儀式をやらない人、知らない人が多い。誕生された赤ちゃんには、もれなく案内を出している。でも、お出でになる方は、20%以下に思える。何処でも市長さんは100歳の方はお祝いされる。何故、命の誕生を祝福されないのだろうか？

少子化著しい今こそ、皆で祝福すべきだと思つが……。赤ちゃんは愛の結晶である。命は奇跡である。社会の宝物と言え。お母さんに抱かれた笑顔が眩しかった。

昔は、母方の祖母が抱いてお参りされた。それには意味があった。昔は、お産は汚らわしいとされていた。

初宮が終えて、嫁は晴れて忌が開けるとされてきた。

嫁は産後で体力が回復していない。嫁をいたわる、優しい一面があったようだ。こんな意味で、祖母が主役でもあった。かかる費用も、総て祖父母が担っていたのだ。今はお嫁さんが抱いてお参りされることが多い。核家族化の影響か？それでも祖父母が見えた所は一件ありました。昔の風習はまだ微かに残っております。



### 稲荷神社 例祭 神事

神よ、来年こそは春祭りを！

稲荷神社の例祭は春祭りの神事である。今年もコロナ禍で春祭りは中止されたが神事は縮小して行いました。

稲荷神社本殿前に大來なケヤキが立っております。

一時は枯れかけており、グリーンドクターにも相談して養生を施しました。その成果が出て来たのだろうか、今年は青葉が多くなってきた様に感じました。

復活の兆し！コロナで閉塞感漂う中、一筋の光明でしょうか。コロナ君 さようなら！

カムバック！スプリングフェスティバル&ケヤキ！  
来年は賑やかに春祭りの出来る事を念じました。



### 参拝者・コロナ対策

コロナ禍防止の為、対策を講じております。

手水場は、ひしゃくの使用を止めて、竹筒を加工して、自動で水が使える様に工夫しました。

もう一つは、踏込式アルコール消毒装置を設置しております。この二つは、総代の足立好教氏が考案して、自分で作り上げた物を提供されました。感謝です。



### 境内草刈り・薪作り

梅雨明けの七月十八日境内巨木の建つ森の中と秋葉神社境内の草刈り作業を総代衆全員で行いました。膝まで位伸びていた雑草も綺麗に刈り倒され、床屋さんに行ってスッキリした神社の森になりました。倒された草は樺や杉の肥料となり、巨木を支えてくれるでしょう。草刈りの他に、年末年始に焚く篝火の薪作りも行いました。備蓄している長材を薪の長さに刻んで、積み上げて保管します。真冬に使う材料の調達も、毎年、盛夏の時期に行っております。左義長も行いました。前の左義長から半年過ぎると、古いお札や縁起物が投函舎に溜まってきます。お祓い神事を行い、焼却を行いました。又、池の中の鯉を鳶やカラスから守る為に、池の上に水系を張っておりますが、これの交換を池に入り行いました。この時期は半夏生が終わり暫らくした頃です。昔は半夏生までに農作業を終わらせ、一休みする時とされてきました。隣の福井県大野市では、昔、藩主が鯖を焼いて、農民に食べさせ、鋭気を養わせてそうです。それが越前鯖として今に残っているようです。この日、炎

天下の中、草刈り作業等で頑張った頂きました。何かとつるさい時期ではありませんが、境内の片隅で焼き肉をして、鋭気を回復して頂きました。



### 秋の例祭・検討会議

昨年はコロナ禍で大幅縮小の開催でした。

今年は、ワクチン接種が進められて、コロナ感染は衰えが見え始めましたが予断は許されません。そうした中で、

今年の秋祭りを如何に進めるかの検討会議が、祭りの主軸となる大神楽の幹部衆と総代役員で行いました。室町時代から、五百一十二年途切れることなく続けられた伝統行事であります、中断したくありません。皆で協議した結果、縮小して続ける事が決められました。大筋は昨年同様、九月十八日、一日のみにて行う。午前中が秋葉神社で神事のみ、午後白鳥神社にて神事、太神楽奉納を数行います。神事の中で、巫女による浦安の舞は、雅楽の皆さんと共に奉納致します。

皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

### 御寄進・ご奉仕

- 一、踏込式アルコール消毒装置二基……………足立好教様
  - 一、手水場建物塗装……………川崎 弘 様
  - 一、社務所、倉庫屋根清掃……………曾我幸男・正者憲次 様
  - 一、花壇花植え整備作業……………清水妙子・瀬木すみ子 様
  - 一、手水舎ポンプエア抜き装置……………足立好教 様
  - 一、境内建物常夜灯LED化奉仕作業……………足立好教 様
- 心温かいご寄進、ご奉仕、誠に有難うございます。

### 令和三年八月からの主な行事予定

- 8 / 1 新型コロナ禍により予定を変更する事もあります。
- 8 / 1 宮の森26号発行、宮掃除・腐葉土作り
- 8 / 16 神社境内縁日盆踊り〜縮小開催
- 8 / 17 拜殿踊り〜中止
- 9 / 12 宮掃除・幟旗建立(大鳥居前)
- 9 / 18 午前中〜秋葉神社神事。
- 10 / 24 午後〜白鳥神社例祭神事、太神楽奉納、宮掃除
- 11 / 3 初宮神事・七五三神事
- 11 / 19 神送り
- 11 / 23 新嘗祭・左義長神事

### 御朱印受付

ご希望の方は0575-18214387・瀬上まで

(文責・瀬木)